

令和7年度 第1回

蕨市消防委員会



(令和6年7月納車 蕨積載1)

日時 令和7年10月7日 (火)

午後3時 開会

場所 蕨市消防本部 2階会議室

令和7年度 第1回 蕨市消防委員会 次第

日 時 令和7年10月7日(火)

午後3時

場 所 蕨市消防本部 2階会議室

1 開 会

2 委嘱状交付

3 市長挨拶

4 委員長及び副委員長選出

5 消防長挨拶

6 消防職員紹介

7 議 題

(1) 蕨市消防の概要について

(2) 令和6年度消防本部所管決算（歳出）の概要について

(3) 令和7年秋季全国火災予防運動について

(4) 令和7年度消防委員の参加行事予定について

(5) その他

8 閉 会

蕨市消防の概要について

庁舎概要

●蕨市消防本部・消防署

所在地 蕨市錦町5丁目1番22号
敷地面積 2,771.51 m²
構造 庁舎 鉄筋コンクリート造（耐震構造）、地上3階 陸屋根
訓練塔 鉄骨造、地上7階（補助塔 地上4階）
床面積 1,794.24 m²

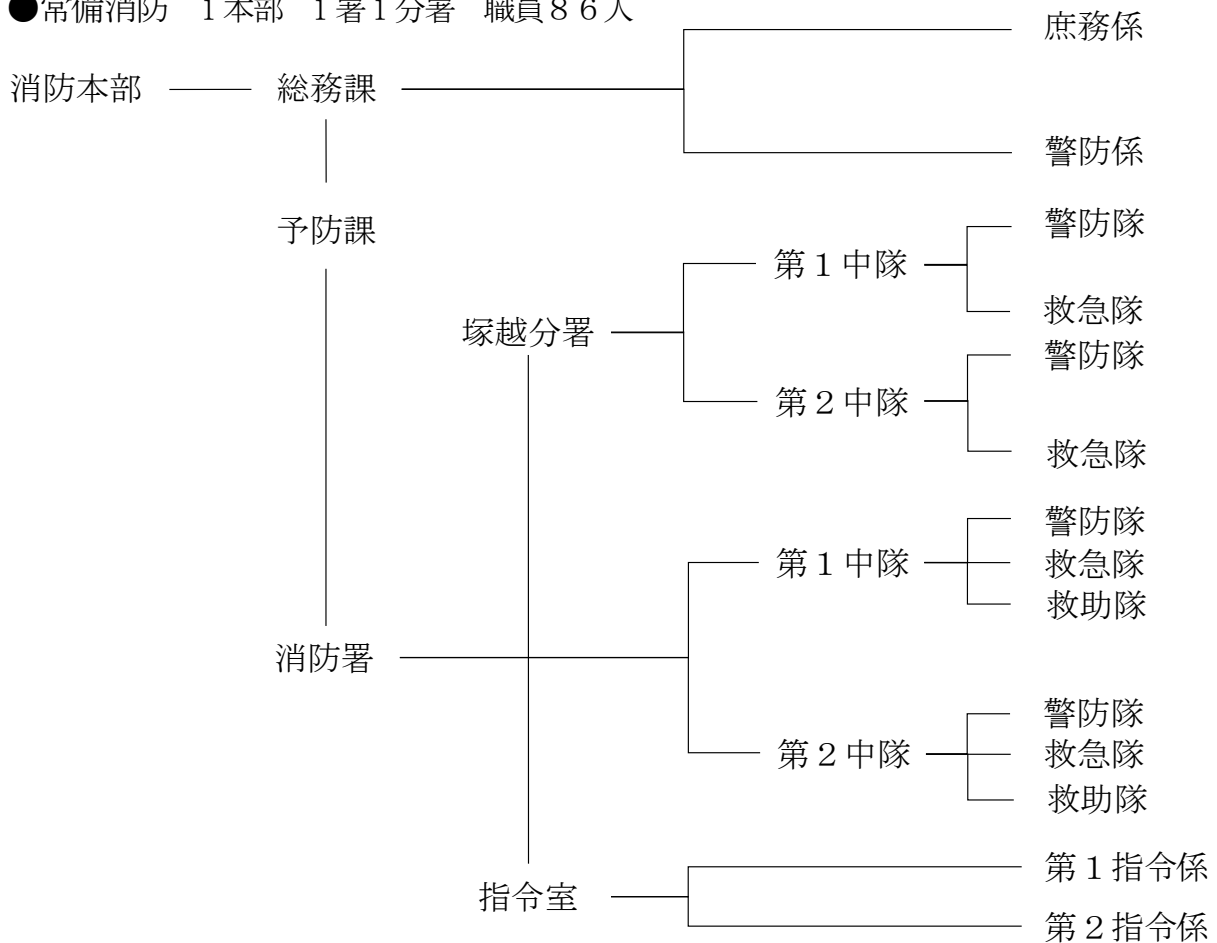
●蕨市消防署塚越分署

所在地 蕨市塚越4丁目1番6号
敷地面積 392.22 m²
構造 鉄筋コンクリート造 地上3階
床面積 580.06 m²

組織概要

（令和7年4月1日現在）

●常備消防 1本部 1署 1分署 職員86人



●非常備消防 1本部 6分団 団員84人

消防団本部（4人）（団長・副団長2人・本部員1人）
第1分団（13人）・第2分団（16人）・第3分団（8人）
第4分団（14人）・第5分団（13人）・第6分団（16人）

資料1-2

車両概要

(令和7年4月1日現在)

No.	車 両	車 両 説 明	登 録 番 号	初登録	経過年	製造会社	配備先
1	蕨 1	1.5 トンの水槽付 火災現場直近に部署 緊急消防援助隊登録車両	大宮 830 す 2110	H21. 10	16	日野自動車	消防署 警防隊
2	蕨 2	0.6 トンの水槽付 消火栓等に部署し蕨 1 に中継	大宮 830 さ 2602	H26. 2	12	日野自動車	消防署 警防隊
3	蕨 3	0.7 トンの水槽付	大宮 800 す 8788	H17. 1	21	日 産 U D	消防署 予備車
4	塚越 1	1.5 トンの水槽付	大宮 830 さ 2311	H23. 11	14	日野自動車	塚越分署 警防隊
5	救助 1	クレーン、照明装置等の 救助資機材を装備、積載	大宮 830 す 2401	H24. 1	14	日野自動車	消防署 救助隊
6	梯子 1	30m級のはしごを装備 10 階程度まで対応	大宮 800 は 512	H16. 3	21	日 産 U D	消防署 救助隊
7	梯子 2	15m級の屈折はしごを装備 5 階程度まで対応	大宮 830 さ 2110	H21. 10	16	日野自動車	消防署 救助隊
8	指揮 1	指揮車両	大宮 830 と 303	R3. 3	5	トヨタ自動車	消防署
9	救急 1	高規格救急車 緊急消防援助隊登録車両	大宮 830 セ 2710	H27. 10	10	トヨタ自動車	消防署 救急隊
10	救急 2	高規格救急車	大宮 830 そ 2410	H24. 10	13	トヨタ自動車	消防署 警防隊
11	救急 3	高規格救急車	大宮 830 ね 2001	H20. 1	18	トヨタ自動車	消防署 予備車
12	塚越救急 1	高規格救急車	大宮 830 め 1030	R3. 12	4	トヨタ自動車	塚越分署 救急隊
13	積載 1	資機材搬送車両 最大積載量 2, 550 kg	大宮 830 そ 607	R6. 7	1	日野自動車	消防本部 総務課
14	査察 1	広報・査察・火災原因調査等	大宮 800 す 9809	H17. 8	20	マツダ自動車	消防本部 予防課
15	業務 1	業務用車両	大宮 480 あ 6268	H17. 7	20	ホンダ自動車	消防本部 総務課
16	業務 2	業務用車両	大宮 50 や 580	H16. 4	21	三菱自動車	消防本部 総務課
17	業務 3	業務用車両	大宮 503 そ 5754	H29. 6	8	日産自動車	消防本部 総務課

資料2-1

令和6年度消防本部所管決算(歳出)の概要

(単位：円)

区 分	支出済額		比 較	
	令和6年度	令和5年度	差額	割合
消 防 費	1,012,362,542	969,489,790	42,872,752	4.42%
01 常備消防費	844,370,932	824,404,236	19,966,696	2.42%
一般職人件費	738,529,177	711,754,896	26,774,281	3.76%
消防事務費	6,707,297	12,760,911	△ 6,053,614	△47.44%
消防・救急活動費	61,680,317	64,258,195	△ 2,577,878	△4.01%
職員研修費	3,500,621	4,223,734	△ 723,113	△17.12%
消防庁舎管理費	17,651,168	20,196,777	△ 2,545,609	△12.60%
消防庁舎等 改修事業	3,938,000	0	3,938,000	—
消防車両管理費	12,364,352	11,209,723	1,154,629	10.30%
02 非常備消防費	24,189,474	20,656,775	3,532,699	17.10%
消防団員活動費	22,951,889	18,981,725	3,970,164	20.92%
消防団施設管理費	295,522	275,792	19,730	7.15%
消防団車両管理費	942,063	1,399,258	△ 457,195	△32.67%
03 消防施設費	70,678,405	33,471,948	37,206,457	111.16%
消火栓等維持管理費	11,550,017	5,486,646	6,063,371	110.51%
消火栓等整備事業	5,530,888	4,885,302	645,586	13.21%
消防ポンプ 自動車整備事業	27,500,000	23,100,000	4,400,000	19.05%
災害救助用 資機材搬送車設備事業	26,097,500	0	26,097,500	—
04 水防費	704,000	704,000	0	0.0%
05 災害対策費	72,419,731	90,252,831	△ 17,833,100	△19.8%
一般会計歳出合計	30,502,505,325	30,787,676,674	△ 285,171,349	△0.93%
消 防 費 の 割 合	3.32%	3.15%		0.17%

(単位：円)

令和4 年度	消防費の支出済額合計	832,233,534	=	消防費の割合
	一般会計歳出の支出済額合計	30,638,000,626		2.72%
令和3 年度	消防費の支出済額合計	841,328,486	=	消防費の割合
	一般会計歳出の支出済額合計	29,884,900,115		2.82%

資料2-2

令和6年度 消防 主要事業費の概要

1 常備消防費－消防・救急活動費

事業概要	決算額（円）
半自動除細動器（3台分）	1,019,700 円



救急活動において、心肺停止の傷病者に対し救急救命士が電気ショックを行うほか、心電図や酸素飽和度を確認する資機材。

2 常備消防費－消防庁舎等改修事業

事業概要	決算額（円）
仮眠室個室化設計	3,938,000 円

警防隊、救助隊及び救急隊の使用する仮眠室における感染リスク低減対策として、設計委託を実施、令和7年度12月に運用開始。

※「緊急防災・減債事業債」対象事業

3 非常備消防費－消防団員活動費

事業概要	決算額（円）
①クールベスト（熱中症対策資機材30着）	396,000 円
②救助避難ボート（2艇）	1,266,100 円

① クールベスト



熱中症対策として、訓練及び災害時において、活動服の上に着用し、腋下や背中を冷却する資機材。

②救助避難ボート ※消防団設備整備費補助金



台風や局地的豪雨等による市街地浸水などで孤立した人の救助活動に活用。

《第1・第5分団に配備》

4 消防施設費－消防車両等設備事業

事業概要	決算額（円）
①消防ポンプ自動車（第6分団）	27,500,000 円
②災害救助用資機材搬送車	26,097,500 円

①消防ポンプ自動車（第6分団）



運転免許制度の改正などにより、将来的に機関員不足が懸念されることから、昨年度整備した第3分団車両同様に、普通運転免許で運転できる車両総重量 3.5 トン未満の車両。

※「緊急防災・減債事業債」対象事業

②災害救助用資機材搬送車



多種多様化する災害に対応するため、大型の資機材を搬送できる箱型のトラックを導入。水害時の救助ボート、火災等の後方支援やサリン等の化学テロ災害時に使用する資機材を搬送する

令和7年秋季全国火災予防運動実施要綱（案）

1 目的

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的とする。

2 防火標語（2025年度全国統一防火標語）

「 急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし 」

3 実施期間

令和7年11月9日（日）から11月15日（土）までの7日間

4 本予防運動中の重点目標

- （1）感震ブレーカーの普及推進
- （2）住宅用火災警報器の設置、維持管理の推進
- （3）リチウムイオン電池の出火防止啓発の推進
- （4）放火、たばこ、コンロを起因とする出火防止対策の推進

5 蕨市において実施する内容

- （1）JR蕨駅と消防庁舎にて火災予防の横断幕や懸垂幕を掲げ、火災予防啓発を図る。
- （2）ビバモール蕨錦町にて市内小学生が作成した防火ポスターを展示する。
- （3）11月10日午後4時より、ビバモール蕨錦町にて、防火協会と協力し火災予防広報活動を実施する。
- （4）市内大型店舗等にて火災予防のポスターを掲示し、電光掲示板や放送による火災予防広報を実施する。
- （5）防災行政無線や消防車両による火災予防広報を実施する。
- （6）消防車両や危険物運搬車両に火災予防運動のマグネットシートを貼付し、火災予防啓発を図る。
- （7）広報蕨や消防本部ホームページにて火災予防啓発を図る。
- （8）ケーブルテレビ（WINK）にて火災予防運動を周知する。
- （9）別紙 住宅防火「いのちを守る10のポイント」を活用し広報を実施する。

住宅防火 いのちを守る 10のポイント

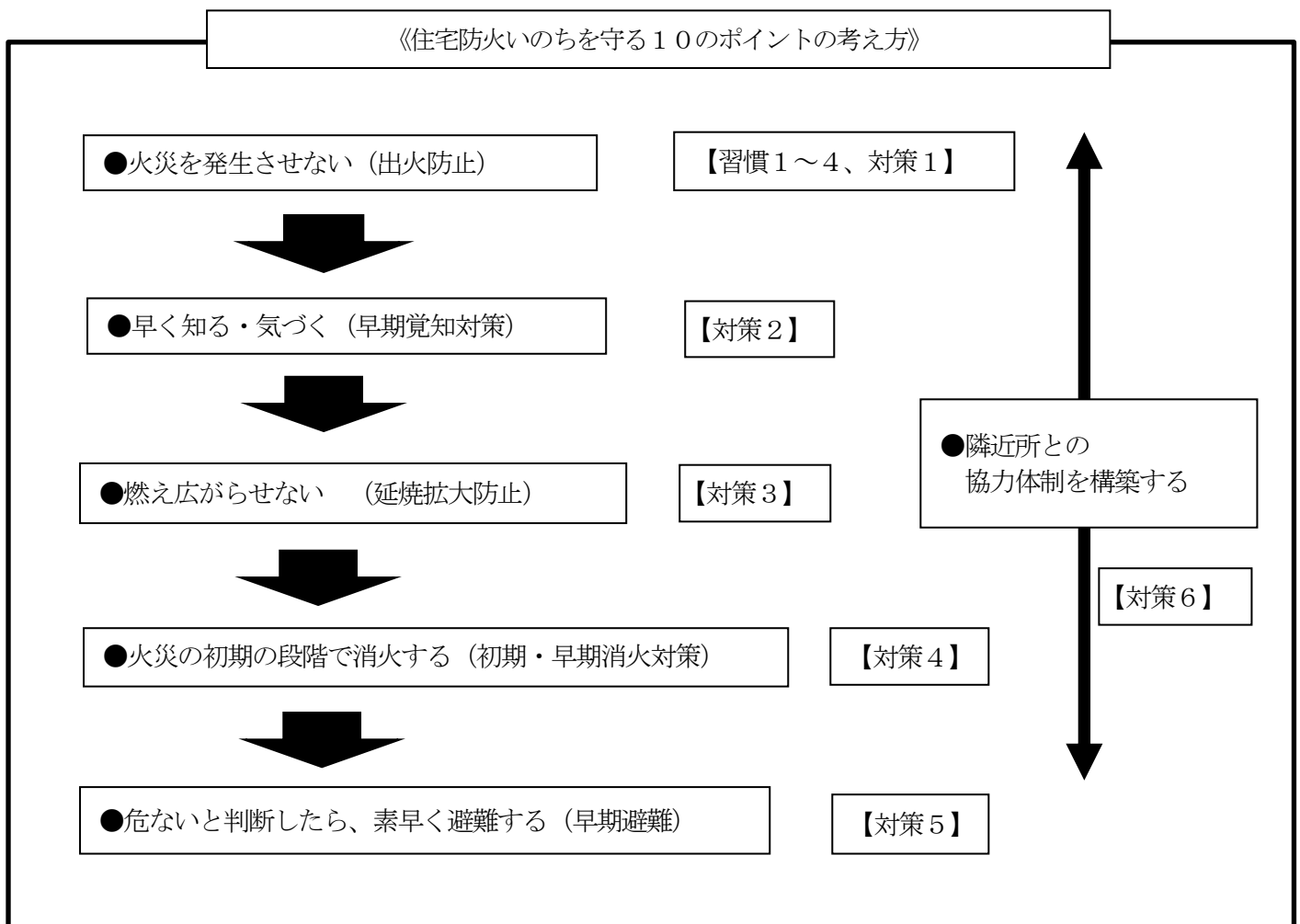
—4つの習慣・6つの対策—

4つの習慣

1. 寝たばこは絶対にしない、させない。
2. ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
3. コンロを使うときは火のそばを離れない。
4. コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。

6つの対策

1. 火災の発生を防ぐために、ストーブやコンロ等は**安全装置**の付いた機器を使用する。
2. 火災の早期発見のために、**住宅用火災警報器**を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
3. 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、**防災品**を使用する。
4. 火災を小さいうちに消すために、**消火器等**を設置し、使い方を確認しておく。
5. お年寄りや身体の不自由な人は、**避難経路と避難方法**を常に確保し、備えておく。
6. 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの**防火対策**をおこなう。



消防委員の参加行事予定について

- 埼玉県消防協会蕨戸田支部消防特別点検

令和7年11月9日（日） 午前10時00分～ 戸田市役所駐車場

- 蕨市総合防災演習

令和7年11月16日（日） 午前9時00分～ 蕨市立中央小学校

- 蕨市消防歳末特別警戒及び市長巡視

令和7年12月26日（金） 午後7時50分～午後9時00分 消防署（本署・分署）
第1～6分団

- 蕨市消防出初式

令和8年1月11日（日） 午前9時00分～消防署（本署敷地内）

- 第2回蕨市消防委員会

令和8年 2月下旬 消防本部2階会議室

蕨市消防委員会委員名簿

令和7年9月1日現在・敬称略

職 名	氏 名	委 嘱
1号委員（学識経験者）	やまざき てつ 山 崎 徹	再 任
〃	あいざわ ひろみ 相 澤 浩美	再 任
〃	しらいわ よしひろ 白 岩 芳洋	新 任
〃	あす ま まさゆき 遊 馬 昌之	新 任
2号委員（市議会議員）	こばやし りき 小 林 利規	再 任
〃	やまわき のりこ 山 脇 紀子	再 任
〃	しょう の こうじ 庄 野 航二	再 任

※委員の任期は、令和7年9月1日から令和9年8月31日までの2年間

蕨市消防 本部・消防署 職員名簿

(消 防 本 部)

令和7年度

職 名	氏 名	備 考
消 防 長	の ざき よしとも 野 崎 好伴	
次 長 兼 署 長	こばやし じゅん 小 林 順	
次 長 総 務 課 長	すず き けいいち 鈴 木 経一	
予 防 課 長	お お た さかえ 太 田 栄	
総 務 課 長 補 佐	は か ま だ きょう た 袴 田 恭太	
総 務 課 長 補 佐	いちのせ りゅうじろう 市 瀬 龍 治郎	
総 務 課 長 補 佐	お か に わ まさとし 岡 庭 雅 俊	

(消 防 署)

職 名	氏 名	備 考
副 署 長	よこやま よしはる 横 山 義 治	
第 1 中 隊 長	横山副署長事務取扱	
第 2 中 隊 長	あ お き やすなり 青 木 靖 也	
第1中隊副中隊長	き し た た く み 岸 田 拓 巳	
第1中隊副中隊長	やま の い やすお 山 野 井 康 夫	
第2中隊副中隊長	こ じ ま まさかず 小 島 雅 寿	
第2中隊副中隊長	まつ お こう じ 松 尾 幸 治	

Memo

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dashed lines.

